

<会員による自著紹介> * 紹介者である会員

絶対役立つ臨床心理学 —カウンセラーを目指さないあなたにも—

藤田哲也¹⁾* (監修)・
申崎真志²⁾ (編著)

1) 法政大学・2) 関西大学

ミネルヴァ書房 (2016年発行)
定価 2,500円 (税別)



臨床心理学の専門書の多くは、カウンセラーや、カウンセラーを目指している学生・大学院生を想定して書かれていることが多いのだが、臨床心理学はそういった専門家のためだけのものではなく、一般の学生や大学の教員にとっても有益な学問である。本書はまさに「カウンセラーを目指さない」けれども臨床心理学について学問的にきちんと学びたい人を想定して編集されている。具体的には、特段に重大な問題を抱えていない人の日常生活も、臨床心理学の理論的な枠組みを通して見れば、より適応的で充実したものになるということが伝わるように工夫を凝らしている。ただし、書店にあふれている多くの一般向け書籍とは異なり、心理的障害および心理療法を中心として、臨床心理学という学問分野を学ぶ上で必要な事項をバランスよく、かつ、わかりやすく解説をしている。すなわち、執筆陣の主観や経験則に大きく依存することなく、学術的な背景に基づいた、客観的で理論的な説明がなされているので、臨床心理学について初めて学ぶ人にとってよい導入の書になることはもちろんのこと、一通り学んだことがある人にとっても、自分自身の理解を相対化する枠組みになるであろう。

初年次教育学会の会員にとって、担当する学生の心理的な状態について適切に理解し、もしその学生が心の問題を抱えている場合には、どのように解決に向けたサポートができるのかを考えることは、重要な関心事であろう。身近に相談できる臨床心理の専門家がない人、あるいは従来の臨床心理学の専門書では理解するのが困難だったという人には、ぜひ本書を手にとっていただければと思う次第である。

また、本書は「絶対役立つ教育心理学」「絶対役立つ教養の心理学」「絶対役立つ教養の心理学 展開編」に続く、「絶対役立つシリーズ」の第4弾である。既刊本、とりわけ「絶対役立つ教育心理学」は大学・短大で教壇に立つ方にも絶対役立つ内容である。いやむしろ、絶対に知っておいてほしい内容が満載なので、本書と併せてお読みいただければ幸いである。